

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
3	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
More than 100,000 Europeans die prematurely each year from drinking, report warns. 年間 10 万人の欧州人が飲酒により天寿をまっとうせず早死にしている	
執筆者	
London Michael Day	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
BMJ 2006; 332:1294	
キーワード	
アルコール、影響、経済効果、施策	
<p><b>要 旨</b></p> <p>欧州連合の主要報告では、年間 11 万 5 千人の欧州人がアルコール飲酒により死亡していると報告され、酒造業との衝突がさげられない様子である。欧州委員会援助による今年度の欧州のアルコール対策の元となる根拠を提供する報告では、欧州大陸全土にわたりアルコールによる健康障害は当初予測していたより大きいと報告されている。</p> <p>報告では欧州において飲酒は全死亡原因の 7.4%を占め、若年者死亡原因のトップである。公衆衛生の観点からみると、アルコールは喫煙と高血圧に次いで肥満や運動不足より病気発症や死亡の大きな原因となっている。</p> <p>英国政府のアルコール研究による報告では、500 万から 900 万人の児童がアルコール乱用により虐待をうけており、飲酒運転により 1 万人が死亡している。欧州の経済に与える影響は長期欠勤、若年死亡、犯罪、交通事故を含めると年間 125 兆ユーロにのぼるとされている。</p> <p>公衆衛生専門家であり、欧州と WHO の顧問である Peter Anderson 氏はアルコールの入手と消費量を減らすためにより有効な施策が必要であると述べている。</p> <p>具体的案として、酒税を 10%まで増加すれば年間九千人の死亡が予防でき、国家収入が年間 13 兆ユーロ増加するとしている。</p> <p>また、その他にも早急な具体案として</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)飲酒運転の許容量を 0.5g / lにする</li> <li>2)アルコール飲料の販売店数を減らす、販売時間を制限する</li> <li>3)広告規制を強化する等をあげている。</li> </ol> <p>すでに、いくつかの業界団体はこの報告について疑問をなげかけているが、Christina Godfrey York University 健康経済学教授は、「この研究は欧州のアルコールによる社会的経済影響を示す最適な推計値である。しかし、重要な点は、費用効果のある政策が可能であることである。しかし、現行施策による失業の予測は誇張されている。」と述べている。</p>	